

Un petit cafe de Kobe 2003 no
男性も気軽に立ち寄れるカフェ

信時 哲郎

co-fuq策e 小福

神戸市中央区海岸通四
清和ビル三十七

営業時間 078(351)5033
1200~2000
定休日 火曜



くらしいの男性もよく訪れるといつから、これはイマドキのカフェとして、異色の存在だ

だと言つていいかもしれない。パタンナフの福元陽子さんが（30）の岡田真理さん（28）とオランダの店。開店一年目を迎えたこの三月、雑貨部門に担当してきた。fuq策e shop（海岸通四丁目）が新しくco-fuq策e（水曜）をオープンしたため、女性向けがメインの雑貨の多くがそろった。東アジアのアイテムが満載。め、少年ゴキウをくすぐるアイテムが満載。ち着いた感じが、インテリジェントで、以前、ここで力をかかっていた人が使っていたのも、やがてお金のあまのツカ分つていなくなった。この一年間、カゼをひくヒマもなかったけど、別に苦痛じゃなかったです。ここで「カフエは好きじゃないとできない仕事だ」とは、よく聞く言葉だが、肯定的に言い換えてみると、「カフエは好きならばできる仕事だ」ということになる。岡田さんの周りも、一年前は反対する人が多かった。だが、悩み出したらきりがない。自分のできそうなこと、まずはやってみよう。そう思つて出店したのだという。

現在のところフードメニューは置いていないが、それはカフエ部門の切り盛りを、アルバイトの手も借りずに岡田さんだけでしているため、一人ではなかなかここまで手が回らないのだという。この一年間、カゼをひくヒマもなかったけど、別に苦痛じゃなかったです。ここで「カフエは好きじゃないとできない仕事だ」とは、よく聞く言葉だが、肯定的に言い換えてみると、「カフエは好きならばできる仕事だ」ということになる。岡田さんの周りも、一年前は反対する人が多かった。だが、悩み出したらきりがない。自分のできそうなこと、まずはやってみよう。そう思つて出店したのだという。

そして一年後。カゼをひくヒマもないほどカフエに情熱を注いだおかげか、今では彼女に意図する人はいなくなつた。しかか、頑張つてはいけないと思う。お客さんに見せてしまつてはいけないと思う。と割り切れるところがプロフェッショナル。この二つが静かに調和しているのがco-fuq策eの魅力であり、幅広い層から支持される理由でもあるのだらう。

- ブレンドコーヒー 4000円
- ストリートティー 5000円
- ビール 500円
- ケーキ各種（モンブラン、プリーゼ、ヴェーラ、ペイクド・チーズケーキなど） 5000円



パティシエの作ったケーキは、このディスプレイ・ウィンドウの中に並ぶ。



co-fuque に辿りつくには、まず清和ビルの前にあるこの看板を見つけること。